

佐ト訪米阻止 我々と共に斗え！

佐ト訪米阻止 安保粉碎 沖縄斗争勝利！

スローガン

11・13
実行会

12.

13.

佐ト訪米阻止

実行会

佐ト訪米阻止

実行会

13.

13)

6.20(11・13)
実行委員会

本日の設置分が少く、整備がまだの方は本日の統一マニフェストに付したと
いふ持し連署の裏を表明したいと思ひます。

かく、日本佐藤栄作といつても必ず自衛隊を目前にいかざさがらず軍事行動
を看過せずに裏をつく。本日の下も自衛隊志願参加といいにかねての方々奮闘へま
ま内に十分であることをきす、「沖縄民の切なる願い」に復帰を実現する
ための「沖縄返還」という主旨でもアーチカル佐トの眞の意圖づらものは同
様のくじら。

ベーナム戦争における日本軍需物資の生産、修理等を行ひ、日々の生産活動
を通じて労働者を復職和担当者の中に力をこめていた。沖縄はたまに菜
作物、発信、訓練、補給の場としてバトナム戦争の中でも大きな役割を果たして
きた極東最大の核基地なのです。ドリームの產生、ベーナム戦争における敗北に
より、アメカは軍事シテアラ後退することを余儀なくしており、軍艦アメ
リカ艦隊における日本の地位はますます重要なものとなっています。アメの
安全保障につけて、日本とアメカが責任分担していくべきと云ふべきが
相対的地位は変化しきるものであり、日米共同責任体制の要素沖縄なのである。
庄子によると、「沖縄返還」の根本にあるモルヒネは軍需機械が必要とする
沖縄の核基地を單にしくりる機能を保持するとしての目的であり、「牛アメ返還」と
口車前段階を経て單に「アメ」ことアメリカが返還をするところのです。

吉田氏「二三」、島原によって主張した「日米安保の自衛隊長・沖縄の本主並
返還アメ軍の核兵器返還を確認しあうとしているのであり、そのために佐トは
日に訪米するのを。」うづく内容をもつて佐ト訪米を許すは沖縄返還しかけ
はがります。

臺灣では今まで十分なりながら大寧王軍を拒みただけでは第一の主義反私産」と
つて最も身近な教育の問題であり、その間にまた再編成時にからつに林に教
育力を全面的に引き継ぐつもりの最も質のものだったのです。しかし全社
翁は階級の力關係に想定されて、現在の學園事務は一定程度改善せらるを得ず、
沖縄は困難な情況においておれでござるわけですが、おれでも一歩を前にすればほん
なこのとおり二つの学園事務の完全な勝利のためには専門者との連帯、政務事
業を担つてどこにほかでないといつても至りました。そういう意味でこそ沖縄
は本界から日本にかけての政局を手つなぐのであり、互なまえをした所に手つて
こしきたいと考えています。

11・13
実行会30
部会
30
内会
6
反テモ30
前30
内会
6
反テモ30
前